

平成30年12月期第2四半期決算参考資料

2018年8月8日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード: 9656)

<http://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 平成30年12月期第2四半期連結決算(累計).....	3
2. 平成30年12月期通期連結業績予想.....	6
3. 業績推移.....	7
4. 平成30年12月期第2四半期末配当の件.....	8
5. 下期の具体的取組.....	9

1. 平成30年12月期第2四半期連結決算(累計)

① 連結決算概要

(単位:百万円)

	平成30年	平成29年	増減	増減率(%)
売上高	3,695	3,781	△86	△2.3%
売上総利益	472	532	△60	△11.3%
営業利益	178	214	△35	△16.7%
経常利益	167	200	△33	△16.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	120	136	△16	△12.2%

当第2四半期連結累計期間における売上高は、土木・建設資材セグメントにおきまして、バイオマス火力発電所への燃料投入業務受託ならびに客土用土の製造・運搬業務が好調に推移し、前年を大きく上回りましたが、遊園地・ゴルフ・ホテルセグメントにおける利用者数は伸び悩み、昨年を下回ったため、売上高は昨年を86百万円下回る3,695百万円となりました。

(単位:百万円)

② セグメント別売上高・損益

第2四半期連結累計期間	売上高			セグメント損益		
	平成30年	平成29年	増減	平成30年	平成29年	増減
遊園地	1,978	2,035	△56	268	313	△44
ゴルフ	466	509	△42	5	28	△22
ホテル	938	1,024	△86	△36	△17	△19
不動産	77	76	1	56	50	6
土木・建設資材	234	136	97	45	15	29
消去又は全社	—	—	—	△160	△175	14
合計	3,695	3,781	△86	178	214	△35

【遊園地】

売上高:九州の遊園地は、競合テーマパークの撤退に伴い、学校団体をはじめとする新規顧客の獲得もありましたが、ゴールデンウィーク期間での集客数が伸び悩みました。
 北海道の遊園地は、5月のゴールデンウィーク期間の悪天候が大きく影響し、利用者数が減少しました。
 この結果、売上高は56百万円の減収となりました。

セグメント損益:売上高の減少に伴い、44百万円の減益となりました。

【ゴルフ】

売上高:利用者数の減少により、売上高は42百万円減収となりました。
 セグメント損益:売上高の減少に伴い、22百万円の減益となりました。

次ページへ続く

② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）

【ホテル】

売上高: 九州・北海道のホテルとも宿泊者数が伸び悩み、宴会及びレストランも低調に推移した結果、売上高は86百万の減収となりました。

セグメント損益: 売上高の減少に伴い、19百万円の損失増となりました。

【不動産】

売上高: ほぼ昨年並みの売上高となりました。

セグメント損益: 売上原価の減少に伴い、6百万円の増益となりました。

【土木・建設資材】

売上高: バイオマス火力発電所への燃料投入業務の受託ならびに客土用土の製造・運搬業務が好調に推移した結果、97百万円の増収となりました。

セグメント損益: 売上高の増加に伴い、29百万円の増益となりました。

2. 平成30年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	平成30年予想	平成29年実績	増減	増減率
売上高	7,900	7,664	235	3.1%
営業利益	460	444	15	3.4%
経常利益	430	422	7	1.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	280	267	12	4.5%

※平成30年予想は、平成30年2月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる場合があります。

3. 業績推移



① 通期

(単位:百万円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年 予想
売上高	7,518	7,941	7,061	7,664	7,900
売上総利益	832	1,100	843	1,090	—
営業利益	242	498	257	444	460
経常利益	268	470	230	422	430
親会社株主に帰属 する当期純利益	171	280	142	267	280

② 第2四半期 (累計)

(単位:百万円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
売上高	3,660	3,577	3,111	3,781	3,695
売上総利益	351	347	183	532	472
営業利益	61	51	△105	214	178
経常利益	34	38	△114	200	167
親会社株主に帰属 する四半期純利益	19	14	△86	136	120

4. 平成30年12月期第2四半期末配当の件

当社は、平成30年第2四半期末の配当金につきまして、平成30年8月8日開催の取締役会にて、前回予想の通り、1株につき、5円とすることを決議しました。

なお、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
第2四半期末	3円00銭 普通配当3円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当4円00銭 特別配当1円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭
期 末	5円00銭 普通配当5円00銭	8円00銭 普通配当5円00銭 特別配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	6円00銭 普通配当5円00銭 特別配当1円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭 (※)
年 間	8円00銭 普通配当8円00銭	11円00銭 普通配当8円00銭 特別配当3円00銭	8円00銭 普通配当8円00銭	11円00銭 普通配当9円00銭 特別配当2円00銭	10円00銭 普通配当10円00銭 (※)

※平成30年期末配当及び年間配当は予想額となります。

5. 下期の具体的取組

【遊園地事業】

①グリーンランド(九州)

- ◆日本初登場となる新規アトラクション「くるるんタワー」7月21日オープン！
- ◆夏イベント
 - ・「こどもスタジオ NHKキッズキャラクター大集合！」(7月14日～11月25日)
NHK Eテレの人気番組「いないいないばあっ！」・「おかあさんといっしょ」・「みいつけた！」の世界に入り込んで写真を撮ったり遊んだりできるコーナーが盛りだくさん！！
夏から秋にかけてのロングラン開催！
 - ・「仮面ライダービルド スペシャルショー」(7月29日、8月の日・祝日及び8月13日～15日)
 - ・「仮面ライダービルド 出演俳優トークショー」(8月12日)
 - ・「マーチングバンドフェスティバル」(8月19日)
 - ・花火イベント
 - 「さのよいファイヤーカーニバル2018」(7月15日)
30分間で10,000発の、間近で見る大迫力の打上花火に、音楽を合わせた「ミュージック花火」
更に、レーザー光線演出とのコラボレーションを実施
総勢73チームによる「さのよい踊りコンテスト」も開催
 - 「サマーナイト打上花火ショー2018」(8月11日～8月14日)
お盆期間は4日連続で打上花火
 - ・イルミネーションイベント「光のファンタジー」(8月1日～9月2日)
日本最長100メートルの動くアニメイルミネーション「フェアリーダンス」や光の大通り「ルーチェ・ヴィアーレ」は圧巻！
そのほか、園内100カ所以上のイルミネーションスポットや光と音の大噴水など、魅力がたくさん！
- ◆「ウォーターパーク(9つのプール)」営業(7月20日～9月2日)
わんぱくバルーンエリアを一部リニューアル(新たなアスレチックバルーンが登場！)

【遊園地事業】

- ◆タマホームスペシャル2018第15回『花火物語』(9月15日)
レーザー光線と8,000発の花火のコラボや様々な演出をご用意いたします。

- ◆秋イベント
 - ・夏に引き続いて開催「こどもスタジオ NHKキッズキャラクター大集合！」(7月14日～11月25日)
- ★週末イベント
 - ・「仮面ライダージオウショー」
 - ・「プリキュアオールスターズがやってくる！」
 - ・「HUGっと！プリキュアショー」
 - ・「それいけアンパンマンショー」
 - ・「はたらくクルマ大集合」
- ★ハロウィンイベント
 - ・「グリーンランドハロウィン」(10月1日～10月31日)
 - ・「ハロウィンスペシャル花火」(10月7日)
- ★イルミネーションイベント「光のファンタジー」(9月15日、10月7日、11月3日・17日・18日・23日・24日・25日)

- ◆映画「オズランド 笑顔の魔法おしえます。」10月26日全国公開(TOHOシネマズ日比谷ほか)
舞台となった遊園地では、映画にちなんだ様々なイベントや演出を計画中です

- ◆冬イベント(12月初旬スタート)
 - ・イルミネーションイベント「光のファンタジー」
 - ・カウントダウン(12月31日)他、特別イベント

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

- ・多数の音楽アーティストによる野外コンサート「JOIN ALIVE 2018」を開催(7月14日・15日)
- ・STV(札幌テレビ放送)による開局60周年記念イベント「どさんこみらいフェス」(特設会場:いわみざわ公園)
- ・いわみざわ公園花火大会(8月19日)
総数5,500発の大花火大会
- ・「ときめきサマーナイト」 ナイター営業(7月21日・22日・29日、8月4日～18日)
- ・「HUGっと！プリキュア」(7月29日、8月1日・4日・7日・10日・12日・14日、9月16日・17日・23日・24日)
- ・「それいけ！アンパンマンショー」(7月30日、8月2日・5日・8日・13日・15日、9月30日)
- ・「ルパンレンジャーVSパトレンジャーショー」(7月31日、8月3日・6日・9日・11日・12日・16日・18日・26日、
9月22日～24日)
- ・「仮面ライダービルド スペシャルショー」(8月13日・14日・15日・17日・19日、9月2日・9日)
開催日に応じて、新フォームチェンジ等、登場キャラクターが変更となります
- ・リアル脱出ゲーム「夜の巨大監獄からの脱出」(10月6日～8日)

【ゴルフ事業】

- グリーンランドリゾートゴルフコース36ホールに加え、両メンバーズゴルフ場においても導入した新型ナビゲーションシステムのPRによるコンペ獲得等の集客の拡大
- メンバーズゴルフ場の強みであるキャディ付プレーPRならびにその基盤となるキャディ採用促進
- グリーンランドリゾートゴルフコース内オレンジコース(18H)のリニューアル
 - ・バンカーの新設等のコース改造により、戦略性を高める
 - ・トイレ等設備の拡充による顧客満足度向上
- 樹木の剪定・伐採のほか、コース整備に万全を期し、快適なプレー環境の提供に注力
- 韓国内での会員権販売促進やツアー造成会社との連携を強化し、韓国人ゴルファーの更なる獲得

【ホテル事業】

ホテルブランカ・ヴェルデ

- グリーンランドリゾート全体の宿泊拠点としての機能充実ならびに地元で親しまれるホテルづくり

【ホテルブランカ】

- ・好調なネット予約による各種宿泊プランの販売により、客室稼働率向上と客単価増加を図る
- ・継続的な客室改装や設備更新により、快適なホテルづくりに注力
- ・定評のある秋・冬の鍋バイキングにおける内容の充実と地元客へのPR強化

【ホテルヴェルデ】

- ・「ぐるり森ルーム」や「仮面ライダービルドルーム」等のキャラクタールームのPR強化
- ・屋内でのビアパーティプラン造成による顧客獲得
- ・ブライダルウェブページのリニューアルと挙式プランの充実により婚礼獲得

ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

- 遊園地・ホテル・公園をあわせたリゾート全体の魅力をPR

【サンプラザ】

- ・客室のリニューアルをPRして、競合施設との差別化による顧客獲得ならびに売上拡大を図る
- ・スキしゃぶ、生寿司など、好評な飲食メニュー企画による顧客獲得

【北村温泉】

- ・周辺施設を活用したスポーツ合宿の取り込み等、団体獲得を積極的に行う
- ・レストランにおける大幅なメニュー改定による顧客獲得

【不動産事業】

- ・新規テナントの誘致に向けた活動を強化
- ・各事業用地の周辺部を含めた景観向上の整備を進める

- ・グリーンランドリゾートエリアの変遷
 - 昭和41年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
 - 昭和41年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
 - 昭和43年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
 - 平成 6年10月 ホテルヴェルデ営業開始
 - 平成 7年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
 - 平成 9年 7月 KKT住宅展示場オープン
 - 平成10年 3月 天然グリーンランド温泉「弥生乃湯」オープン
 - 平成15年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
 - 平成17年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
 - 平成18年11月 グリーンスマイル1番館オープン
 - 平成20年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
 - 平成23年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
 - 平成25年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
 - 平成29年 4月 セブン-イレブン グリーンランド北店オープン
 - 平成30年 9月 賃貸アパート(1棟4戸)事業開始

【土木・建設資材事業】

- ・バイオマス火力発電所への燃料投入業務の堅実な実績づくり
- ・客土用土の製造・運搬の収益性向上ならびにポゾテック等の製品販売に注力